



\* CONTENTS \*

- ◆ 丹波の森構想の新たな展開 2
- ◆ 公苑長挨拶・丹波年輪の里からのお知らせ 3
- ◆ 子ども広場・ささやまの森公園からのお知らせ 4
- ◆ 生活創造ニュース・消費者相談コーナーからのお知らせ 5
- ◆ 公苑からのお知らせ 6
- ◆ 協会からのお知らせ 7
- ◆ 森あそびのススメ 8



## 基調提案

# 「丹波の森構想の新たな展開」

河合雅雄 丹波の森公苑名誉公苑長

(財)兵庫丹波の森協会設立二十周年を記念し、丹波の森構想検証フォーラムが昨年の十一月八日、丹波の森公苑で開催され、河合雅雄名誉公苑長から「丹波の森構想の新たな展開」と題して基調提案がありました。その一部を紹介します。

### 丹波の森構想を通して

#### 広域共同体を目指す

この二十年の歩みを検討する中で「初心に帰れ」、つまり丹波の森構想の理念、目的に戻って不易流行を

体し、未来展望の基礎にすべきと考えました。森構想は私なりに四つの大きな柱がありました。

一つは森林文化を基調にした自然、文化の調和した二十一世紀の新しいライフスタイルの創出。二つ目は丹波地域を緑の憩いの場として位置づけ、農村と都市との交流を図る。三つ目は一つの丹波で広域の地域共同体の実現を目指す。最後に兵庫県生活創造センター構想の第一号としての丹波の森公苑を、民間が運営する官民一体の体制をつくることでした。

#### 共通の価値観を

#### 共有し競い合う

二つの市が共通の価値観を共有しながら協調し競い合う、そのための今後の発展の土台を考えてみたいと思います。

一つは豆文化の里づくりです。全国的に有名なブランドは篠山市の黒豆、丹波市の大納言小豆で、これらの他

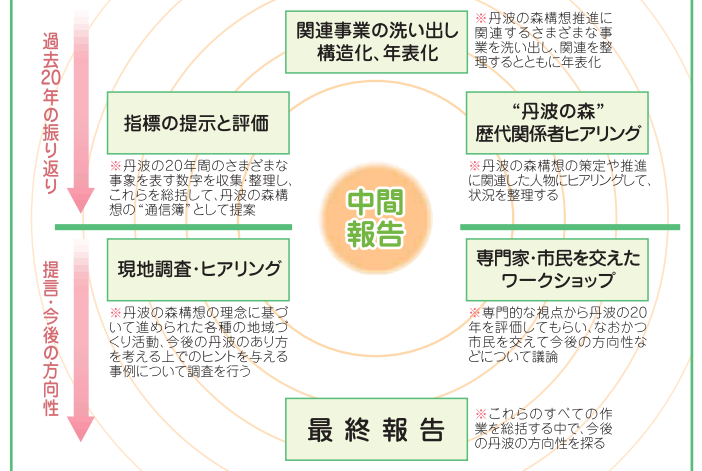
の豆も栽培し加工品も作っていく。

二つ目は獣肉の料理の里ということ。篠山市はぼたん鍋、丹波市では鹿肉料理であるもみじ料理が盛んになりつつあります。そして、日本で唯一の研究機関として、青垣町に野生動物の保護・管理を担うての森林動物研究センターができました。

猪、鹿ときたら次は蝶ですが、丹波の森公苑の里山に多くのクヌギとエノキの木があり、二年前からカブトムシや蝶がやってきて、昨年はオオムラサキの飼育に成功し、千頭以上の幼虫が育ちました。まさに猪・鹿・蝶、花札の里が出来たと思います。

もう一つ面白いことが起こっています。それは白亜紀の化石群で、丹波竜が篠山層群から出たことです。篠山市も貴重な哺乳類の化石が出る、丹波・恐竜の里の夢がもたれます。文化面では国際音楽祭や演劇祭、合唱祭が両市で開催される。こういう共同の催しもやっていかなければならない。

### 丹波の森構想検証事業20年の流れ



### 丹波年輪の里を

#### 森協会が指定管理者に

最後に官がつくって民間が運営する、いわゆる公設民営です。

二十年前に丹波の森協会ができて、丹波の森公苑ができた。これを丹波の森協会が運営する。当時は先導的な試みだったと思います。

そして、この四月から丹波年輪の里を兵庫丹波の森協会が指定管理者となって運営していく。こういう体制が整っています。

民間が育てて活動する組織として、皆様の熱心なご協力をお願いしたいと思います。



## さらなる展開に向けて

丹波の森公苑長 中瀬 勲

平成二十年度は、丹波の森構想策定二十周年を迎え、従来からの活発な事業に加えて、多彩な行動が展開された二年でした。特に、丹波での二十年にわたる先進的な実践に関して、共生社会部会、まちづくり部会、地域産業部会などを組織して評価・検証を進めました。多自然居住地域をリードする丹波での地域づくり、まちづくり、芸術文化活動などの成果を振り返るうえで重要であると思われまふ。それもこれらのことが行政主体だけではなく、市民参画のもとで推進されてきたことは意義深いものです。

この評価・検証の過程で、貝原俊民前兵庫県知事、河合雅雄先生、半田真理子先生、村山克巳前常務理事をはじめ、多くの関係された方々に、当時の思いをヒアリングさせていただきました。丹波の森構想のはじまり、地域づくりへの期待、先進的な住民参加、丹波の森協会の誕生など、改めて皆様方の丹波への熱い思いを聞かせていただいたところです。貝原前知事が、半田先生の「都市に森をつくるー私の公園学」を高く評価されたこと、丹波の森構想の概念が明快で、今でも先進的なことは大いに評価できることなどをお聞きすることができました。丹波の森構想を提言され、実践に導かれた諸先輩の方々から敬意を表するとともに、改めて多くの方々に支えていただいたことに対して、感謝申し上げる次第です。

ヒアリングを通じて、「ウィーン」の森のように、森、山、川、畑、集落、町、生業、生活、これら地域全体が「丹波の森」であるとの考え方も、多彩な試みが展開されてきたことを再確認させていただきました。これが、ウィーン、森、バイエルンの森、フォンテンブローの森など、国内外から多くの参加者を迎えた「二回」にわたる森の国際会議の成功、今も継続しているウィーン、森訪問団の派遣、丹波の森大学の開催となっているのです。そして、NPOたんばくみ、市民創作オペラおさん、茂兵衛丹波歌麿、シュベルティアーデたんばなど、多くの地域住民主体の行動と活躍になったでしょう。まさに、井戸敏三兵庫県知事を先頭に兵庫県政が推進する住民と行政との「参画と協働」のもとで、地域づくり、まちづくりなどを推進する先進的なモデルであるといえます。まちづくりにおける国土庁長官賞の受賞は、このことを物語っています。

今年度は、丹波の恐竜化石の第二次発掘が進んでいます。篠山では非常に貴重な哺乳類化石の発見がありました。人と自然の博物館の岩槻邦男館長の言葉をお借りしますと、「まさに、これらの化石は、これまでの丹波の皆様方の先進的な取り組みへの「褒美」といえるでしょう。

世界的な経済不況の中、丹波も、この荒波を避けて通ることはできません。これに加えて、少子・高齢化の極端な進行、農林業の衰退、就労場の減少などの諸問題が、多自然居住地域を直撃しています。地域社会の持続的な経営そのものが課題になりつつあります。このような時期こそ、日本のみならず、東アジアの中山間のモデルとして、これまでの丹波の森づくりで培ってきた経験、蓄積を基礎にして、丹波の地域づくりを再出発させる好機ではないでしょうか。創意工夫を加えて、独自性を出して、地域全体で、住民参加を通じて、伝統、文化を活かして、丹波から行動し、提言し、発信する時期であるといえます。

住民活動支援の場、地域活性化支援の場などとして、多くの皆様方と協働しながら、(財)兵庫県丹波の森協会、兵庫県立丹波の森公苑が、さらなる発展的、先進的に展開することが大切であると思っております。

### \*\*\*兵庫県立丹波年輪の里 春の催し\*\*\*

問い合わせ 兵庫県立丹波年輪の里 TEL:0795-73-0725  
〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3 FAX:0795-73-0727  
URL: http://nenrin.org/

休館日 毎週月曜日(ただし、祝日の場合は、直近の平日)

#### 木木市(もくもくいち)

- 日時 5月16日(土)・17日(日) 10時～15時 ※時間は予定です。
- 内容 年輪の里名物!木木市。木製材、端材などを販売します。
- 場所 丹波年輪の里

#### 木の館ホール展示案内

- 人にやさしい塗料展 3月初旬～5月10日(日)
- 常設展■ 木のなんでも市 (木材端材展示販売) 新しい木材の利用 見本展示 丹波の森ウッドクラフト大賞 歴代作品

#### アトリ作品展

- 日時 4月29日(水・祝)～5月6日(水・振替休日) 10時～16時 ※最終日は15時まで
- 内容 友の会会員、サークル員と年輪の里指導員の作品展
- 場所 丹波年輪の里 アトリ棟・木の館ホール ほか



4月から

兵庫県立丹波年輪の里

### (財)兵庫県丹波の森協会が指定管理者に

(財)兵庫県丹波の森協会では、「丹波の森構想」に基づき、人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを進めるため、兵庫県・篠山市・丹波市や住民の皆様と連携しながら、幅広い世代が取り組む多彩な分野の学習、交流、地域づくり等の活動を支援しています。

その中で「丹波の森づくり」の関連施設である「丹波の森公苑」「ささやまの森公園」を管理運営していますが、本年4月から、木とのふれあいの中でクラフト創作活動の促進等を支援する「丹波年輪の里」も運営することとなりました。

今後は、丹波の森公苑と協同で情報提供や事業内容の相互乗り入れなど、一体的な運営を行うことで、より住民の皆様活動を支援します。



# 子ども広場

丹波の森公園では、子ども向けの体験プログラムを実施しています。

貴重な体験ができる内容です。

ぜひ、ご参加ください。

※紹介した事業は、平成20年度末時点の計画ですので変更する場合があります。

## 丹波縄文の森塾

丹波の森公園の里山を舞台に、1年を通して学ぶ自然体験塾。小学校3年生から6年生を対象に、生きものや草木の観察、山菜や木の実の食体験、森遊び体験など、数多くの自然体験ができます。

募集は、4月上旬の予定です。

問い合わせ

森づくり課 (0795-72-5169)

## 大人気！たんば子ども塾

先生は高校生！生徒は小学生！

丹波地域の高等学校を会場に、各校の特色を活かしたテーマで実施する全7回の講座です。

小学校の授業とは一味違う楽しい内容がいっぱいです。

募集は、6月中旬の予定です。

問い合わせ

丹波青少年本部 (0795-72-5168)

## 第8期生 丹波の森子どもミュージカル体験塾

演技を基礎から学び、プロの俳優と共演するための本格的な「歌」や「ダンス」のレッスンを重ね、感動いっぱいの発表公演を行います。

小学校1年生から高校生(予定)を対象とします。

募集は、6月下旬の予定です。

問い合わせ

文化振興部 (0795-72-5170)

## 丹波の森子ども美術クラブ

小学校1年生から6年生を対象に、夏休みに開催する美術クラブです。

豊かな自然の中で、次代を担うアーティストと交流しながら、造形の楽しさを体験することを通して豊かな感性を育みます。

募集は、7月上旬の予定です。

問い合わせ

文化振興部 (0795-72-5170)

## キン・コン・カン・コンサート

丹波の森国際音楽祭シュューベルティアードたんば実行委員会は、丹波地域の幼・小・中・特別支援学校園に、クラシック音楽アーティストを派遣します。アーティストの近くで(キン)コンサート(コン)の鑑賞(カン)ができます。

9月～11月頃実施予定です。

問い合わせ

文化振興部 (0795-72-5170)

## —春の里山まつり—

とき 4月12日(日)  
10時～15時(申し込み不要)

内容 木工クラフト・餅つき  
ツリーイング・森のバザー  
農産物販売 ほか



## —一定例プログラム—



- ❖ 4月 山菜教室、グラウンドゴルフ大会 ほか
- ❖ 5月 新緑の深山に登ろう、木工クラフト ほか
- ❖ 6月 モリアオガエルとホタルの観察会、里山伝承“ちまきづくり” ほか
- ❖ 7月 昆虫標本作り、夜の自然体験 ほか
- ❖ 8月 水辺の生きものを探そう、木工クラフト ほか

兵庫県自然活用型野外CSR事業

## ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原511-1  
TEL079(557)0045/FAX079(557)0201  
U R L : <http://www.sasayamanomori.jp/>  
E-mail : [csr@sasayamanomori.jp](mailto:csr@sasayamanomori.jp)

県民交流広場では、地域の皆さんが主体となって、様々なコミュニティ活動が展開されています。

\*実施地区\*

篠山市	大芋地区	大山地区	西紀北地区	日置地区	雲部地区
	城南地区	古市地区	西紀中地区		
丹波市	黒井地区	神楽地区	遠阪地区	吉見地区	鴨庄地区
	美和地区	久下地区	前山地区	佐治地区	上久下地区
	竹田地区				

活動事例紹介

「住民の憩いの場がほしい」、「特産品開発で地域を活性化したい」という住民の思いが『コミュニティキッチン ゆらり』を誕生させました。

ここでは、地域の女性たちが工夫を凝らした郷土料理づくりに取り組んでいます。喫茶コーナーでは、ゆったりとした気分で住民の会話が弾みます。

人気料理は、木綿豆腐、サバ缶、ゴボウ、ニンジンなどが入った伝統食『とふめし』です。その他、子どもに食べさせたい『おふくろ巻(巻きずし)』、地元食材を使った『ゆらり定食』なども「値段が手頃でおいしい」と好評で、評判を聞いて阪神間から訪れる人も増えてきました。

篠山市大山地区  
大山地区郷づくり協議会



\*\*\*\*\*  
コミュニティキッチン  
ゆらり

地域の憩いの場づくりと伝統食文化を活かした特産品開発をしています。

丹波市市島町鴨庄地区  
鴨庄地区自治振興会



\*\*\*\*\*

ふれあいバス

高齢者の外出を支援しています。

バスや鉄道などの公共交通機関がない鴨庄地区では、高齢者の移動手段を確保するため、県民交流広場事業でワゴン車を購入して『ふれあいバス』を運行しています。バスの運行を支えるのは全て住民ボランティア。週に3回、市役所、郵便局、診療所やショッピングセンターなどを巡回し、家に閉じこもりがちな高齢者の外出を支援します。

今年1月には、『ふれあいバス』事業の活動基盤強化を図るため、NPO法人としての認証を受けました。

誰もが住みよい地域づくりと福祉の増進を旨とした住民の取組が、新たな段階を迎えています。



注意!高齢者を狙う寝具販売

相談事例

高齢の家族が一人でいるときに訪ねて来た業者が、布団の点検・クリーニングと称して家へ上がりこみ、高額な寝具の契約を結ばせていた。

アドバイス

高齢者を狙った寝具類の訪問販売の相談が後を絶ちません。

事例のように、過去に布団を購入していることを利用したケースが多く、最初は、布団の点検やクリーニングのためと告げ「お布団を見せてください」と家へ上がりこみます。そして、「このお布団は羽毛が抜ける粗悪品です」や「こんなお布団で寝ていたら病気になりますよ」などと不安をあおり、自社の商品を勧めるのが特徴です。

このように、最初から販売の目的を告げない業者は要注意です。絶対に家に入れないことが

一番ですが、もし契約をしてしまったら、契約内容を表した書面を受け取ってから8日以内であれば、無条件での解約(クーリング・オフ)ができます。

8日を過ぎていても、契約書に不備があったり、勧誘方法に問題があったりすると解約できる場合もありますので、あきらめずにご相談ください。

高齢者の消費被害は、周りの人の見守りが何より大切です。

契約トラブル 悪質商法など **困ったら相談!**

**0795-72-0999**

相談時間：午前9時～午後5時30分  
休園日：月曜日 祝日の場合はその翌日  
[土日來所相談は予約制、電話は週末電話相談へ]

丹波の森公苑生活情報相談コーナー



## 若者必見!活動メンバー大募集

丹波青少年交流サロンでは、一緒に活動する仲間を募集しています。

新たな出会い、経験、学び・・・「青少年交流サロン」で、それらを見つけてみませんか。

イベントの企画や運営を通して、職場や学校とは違う新たな仲間と「何か」をやってみよう!

少しでも興味がある方は、気軽にお尋ねください。

E-mail:tanba\_333@yahoo.co.jp

※件名に必ず「交流サロン」と明記してください。

## 丹波の森若者塾(仮称)

小学生に大人気の「たんば子ども塾」に、高校生バージョンが登場します。

夏季休業中に高校生を対象として、丹波地域で活躍する大学生や大学院生などが先生となり、「ふるさと丹波」の魅力を探求する3日間(1泊2日と1日)のアクティブでアカデミックな講座です。

詳細は、丹波青少年本部事務局までお問い合わせください。

## 「賛助会」入会のお願い

丹波青少年本部の自主事業は、皆様からお寄せいただいた賛助金により実施しています。

丹波地域の青少年健全育成のために、ぜひ「賛助会」にご入会ください。

年間を通じ、随時受け付けています。

### ●普通賛助会員(個人)

年間一口 2,000円

### ●普通賛助会員(団体・企業)

年間一口 10,000円

お申し込み、お問い合わせは、丹波青少年本部事務局までお願いします。

\*-----\*

問い合わせ

丹波青少年本部(0795-72-5168)

## アトリエアーティスト(研修作家)募集

丹波の森公苑アトリエで滞在しながら、創作活動と夏休みに子ども美術クラブの講師を務めるアーティストを1名または1組(5名まで)募集します。

アトリエ滞在と子ども美術クラブの費用は、当公苑が負担します。

●応募資格 美術(ジャンルは問わない)の基礎的な知識・技術と豊富な経験を有する20才以上・芸術家を志す若手アーティストで滞在期間中に子

も対象のワークショップ(美術教室)を企画実施できる方。

●滞在期間 丹波の森公苑アトリエ(7月10日(金)～9月20日(日)のうち連続した60日以内)

●応募・申込 応募票を4月28日(火)必着で提出してください。応募票は当公苑ホームページからダウンロードされるか、下記問い合わせ先に請求してください。

問い合わせ

文化振興部(0795-72-5170)

## 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座 丹波OB大学入学生募集

本大学は、兵庫県地域高齢者大学として、丹波地域の高齢者の皆様に学習や交流の場を提供し、生きがいのある充実した生活を送るために必要な教養を身につけていただくとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会をつくり出す実践者の養成を目的としています。

●定員 60名程度

●学習期間 4年

●受講料 年額 15,000円

●学習内容 教養講座、専門講座、地域実践、オープン学習、クラブ活動など

●募集締切日 4月3日(金)

問い合わせ

文化振興部(0795-72-5170)

## 兵庫県地域高齢者大学 地域活動実践講座 丹波OB大学大学院入学生募集

高齢者大学・学園などでの学びや経験を、さらに「地域づくり」へと広げていく講座です。

受講生の興味・関心を生かした学習計画により、地域実践の手法を学びます。

●定員 30名程度

●学習期間 2年

●受講料 年額 15,000円

●募集対象 丹波OB大学および篠山市・丹波市が設置する高齢者大学・学園などを修了し、地域活動に積極的に参加する意欲のある方(丹波地域在住者)

●募集締切日 4月8日(水)

問い合わせ

文化振興部(0795-72-5170)

## 「丹波の森美術展」のご案内

日本画、洋画、彫刻・彫塑の3部門の作品を募集します。出品料は無料です。皆様のご応募をお待ちしています。

●展示 5月1日(金)～5月6日(水・振替休日) 9時～17時(最終日は15時まで)

●場所 丹波の森公苑 多目的ルーム

●審査員による公開講評会日時 4月29日(水)13時30分～

●出品締切日 4月19日(日)必着

問い合わせ

文化振興部(0795-72-5170)

## 講座「丹波学」のお知らせ

講座「丹波学」は、伝統文化などを活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供するため、平成8年度より実施しています。

平成21年度は、丹波篠山築城400年祭に関連し、篠山城の魅力をより深く理解する講座を計画しています。

### ●開催時期

8月～10月 全5回(予定)

詳しくは、別途ご案内します。

問い合わせ

文化振興部(0795-72-5170)

—建物共済にご加入の皆様へ—

## 兵庫県住宅再建共済制度 フェニックス共済

まさかよりもしにも備えるフェニックス!!

ぜひ、ご加入ください。

★掛金年額5,000円

★最高600万円給付

問い合わせ

兵庫県丹波県民局企画調整部防災課(0795-73-3726)

フェニックス共済



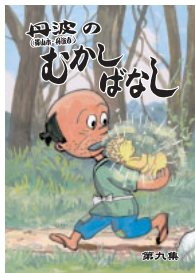
フェニックス サポーター はばたん 兵庫県住宅再建共済制度

**\*information\***

このページに関するお問い合わせは、  
**(財)兵庫丹波の森協会**  
TEL・FAX 0795-73-0933

**丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第九集の発行**

丹波地方ではめずらしい、川のそばの岩壁に彫られたお地蔵様にまつわる昔話「岩にほられたお地蔵さま」（篠山市）、日本で一番低い中央谷中分水界である丹波の石生水分れで、大阪のかえると丹後のかえりが、標高100m未満の峠で出会う昔話「大阪のかえると丹後のかえり」（丹波市）など、全16話を掲載しています。



●1冊500円。発行 4月末。

**丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第八集の点訳本**

「丹南点訳アイ・愛サークル」（代表 酒造忠夫氏）から、丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第八集の点訳本を寄贈していただきました。

これまでに、丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第一集から第七集、創作童話「丹波の森のおはなし」第一集から第二集の点訳本もいただいております。丹波の森公苑ライブラリーコーナーに備えています。

**丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第九集原画展の開催**

- **展示期間** 4月10日（金）～4月22日（水）
- **展示会場** 丹波の森公苑 展示ギャラリー

**丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの紹介**

丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブを設置しています。

- ★ボランティアとして、保育園、幼稚園、小学校、子育て団体などへ出向きます。
- ★現在会員数は、8団体50名です。



語りベクラブの活動  
(丹波市立前山小学校にて)

**「丹波の森市民研究員制度」スタート**

今後ますます活発となる地域のまちづくりを支援し、地域で受け継がれてきた知恵や技術の有効活用を図るため、専門知識や技術を持つ住民を「丹波の森市民研究員」として登録し、有償で派遣する制度を平成20年度から実施しています。

**第17回 丹波の森写真展の開催**

「丹波の森の癒しの風景」をテーマに写真の募集を行いました。入賞作品18点を下記の日程で展示します。

- 【丹波会場】 丹波の森公苑 展示ギャラリー  
展示期間 4月24日（金）～5月6日（水・振替休日）
- 【篠山会場】 篠山市民センター 市民ギャラリー  
展示期間 5月12日（火）～5月20日（水）

**第19期「丹波の森大学」の実施**

将来の丹波地域を創造するための講義や先進地の視察を実施します。詳しくは、別途ご案内します。

- 定員 130名 ●受講料 10,000円

**森と自然とふれあいの旅(予告)**

9月下旬から10月上旬にかけて、オーストリア、フランス、ベルギーの世界遺産を訪れる旅を実施します。

今回は、オーストリアのウィーンの森、フランスのフォンテンブローの森を訪れます。ヨーロッパの秋の旅情に浸ってみませんか。

現在では、自然観察、生き物調査、工芸品、農業、コミュニティビジネス、花と緑の活動、昔話の語りべ、NPO活動、都市と農村との交流、炭焼きなど、幅広い分野の指導者に登録いただいております。

派遣先は、丹波地域の各種団体やまちづくり協議会などで、依頼者の要望に添った指導者を紹介する「地域連携コーディネーター」を協会内に配置しています。

と連携し、新たな公を組む形です。

12月末までに既に5回のワークショップを行い、地域の強みや弱みなどのSWAT分析後、丸山地区のまちづくりの方向性として、

- ①地域の活性化—情報発信と情報の処理再編機能の強化
- ②集落環境の保全維持—暮らしの管理と暮らしのものさしづくり
- ③集落が家族の体制づくり—対等な立場で助け合う共助の仕組み

の3つを提示しています。特に古民家の保全活用では、「土地と家屋の不動産の流動性を高める」ことが必要との認識の基に、使われなくなった個人資産は、地域の協働資産と位置づけ、非管理不動産を適切に管理する仕組みと他地域に住む財産相続者に代わる共助の仕組みの

構築を図ろうとしています。5世帯、19人の集落ながら、行政関係者も加え、毎回約25人前後でワークショップを続けています。地区の活性化に向け、世帯主だけでなく、地域外の関心のある人も加え、一人ひとりが主体的に参加する丸山



スタイルは、新たな地域コミュニティの仕組みを示唆している気がします。ご期待ください。

ワークショップ開催毎に発行されている丸山まちづくりニュース「風景抄」

■問い合わせ ■  
**(財)兵庫丹波の森協会**  
**丹波の森研究所**  
TEL・FAX 0795-73-0933

**地域とともに “丹波の森研究所”**

**空き家を活かした地域の活性化**

丹波の森研究所篠山分室では、今年度国土交通省の「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業に篠山市丸山地区をモデルとする「ふるさと原風景再生マネージメント」事業で応募し、全国357件のうち97件が選定され、丸山も無事認定されました。

応募事業は、丸山をモデルに住民参加に基づく景観整備と空き家を活用した農家民泊の試行的運用、修景整備イベントの計画づくりを行い、限界集落化しつつある谷奥集落の活性化を図ることを目的としています。12軒のうち7軒が空き家の丸山ですが、今も「20年前の風景が残っている」のが特徴です。業務は、NPOたんばぐみとプロビスささやま、行政



# 森あそびの ススメ

—ウワミズザクラ—

昨年、兵庫県立篠山産業高等学校2年生4名が、11月11日～11月14日の4日間、就業体験(インターンシップ)のため丹波の森公苑に来苑し、様々なプログラムを意欲的にこなしました。その中で、丹波の森公苑の森づくり活動アドバイザーの指導のもと植物調査を行いましたので、その一部を紹介します。調査した「ウワミズザクラ」は春に見頃を迎えます。ぜひ、丹波の森公苑にお越しのうえご鑑賞ください。

## 丹波の森を自然観察しよう!! ウワミズザクラについて

この辺りでは珍しい桜だといわれているので紹介します。

- ◆ウワミズザクラは、バラ科で北方系の植物です。
- ◆4月～5月にかけて小枝の先に葉が出てから長さ6～8cmの総状花序をつくり、白い小さな花が咲きます。この桜は、花が咲いているときも葉がついています。
- ◆果実は長さ7mmくらいで、夏に黄赤色から秋に黒く熟し、新潟では、つぼみや若い果実は塩漬け(杏仁香)にして食用にします。

右の写真は、丹波の森公苑で撮影したウワミズザクラです。ぜひ、見に来てください。  
(参考文書「日本の樹木」より)



4月25日撮影



4月27日撮影



7月30日撮影



### \*森づくりスタッフ募集\*

森が好きで、里山づくり、自然観察、野外活動などに興味のある18才以上のボランティアを募集します。 ※未経験の方も可。

- 募集人数 30名
- 参加料 無料(一部実費が必要)
- 活動内容 丹波の森公苑の里山を活動拠点として、里山管理や里山から採れる材料を活かした活動を行います。 ※年12回程度(土・日曜日中心)

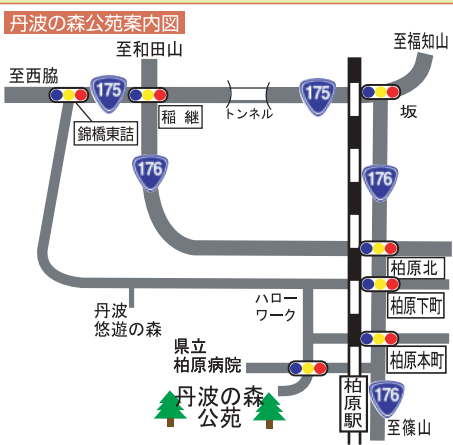
問い合わせ 森づくり課 (0795-72-5169)

### \*春の里山ふれあいハイキング参加者募集\*

家族、グループで新緑の里山を歩き、草木や生きものとのふれあいを深めましょう。新緑の中、ツツジや山桜を楽しみながら、国蝶オオムラサキやカブトムシの幼虫観察、山菜採りや試食などを行います。

- 日時 4月29日(水・祝) 10時集合
- 場所 丹波の森公苑 里山
- 募集人数 60名 ●参加費 1人200円

問い合わせ 森づくり課 (0795-72-5169)



### 丹波の森 第38号

—平成21年3月発行—



(財)兵庫県丹波の森協会・丹波の森公苑  
〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600

#### 【森協会事務局】

TEL・FAX:0795-73-0933  
E-mail:mori-kyokai@tanba-mori.or.jp

#### 【森公苑 代表】

TEL:0795-72-2127  
FAX:0795-72-0899  
E-mail:morikoen@hk.sun-ip.or.jp  
ホームページ <http://www.tanba-mori.or.jp/>

印刷:ウニスガ印刷株式会社

### 森のクイズ

昨年、高校生が就業体験(インターンシップ)で調査した丹波の森公苑内で見られる植物は、下記の①～③のうちどれでしょう。

※紙面上に答えがあります。

- ①ウワミズザクラ
- ②コバノミツバツツジ
- ③ワラビ

正解者には、抽選の上協会からすてきな記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名ご意見などを書いてはがきで事務局までお送りください。(※切4月30日(木)必着) 37号の答えは②20年目でした。たくさんのご応募ありがとうございました。